

消費と値上げに関する意識調査

- 最近の物価の上昇、95%が「生活に影響がある」
- 電気・ガス料金の継続値上げは、6割超が認知
- 電気で81%、ガスで64%が省エネ対策を「行っている」
具体的な対策は「使わない部屋の電気を消す」が98%で最多
- 相次ぐ値上げが消費に及ぼす影響は「電気・ガスの使用を控える(68%)」
「外食を節約する(57%)」、「家での食費を節約する(48%)」

2008年3月25日
株式会社マクロミル
(証券コード：東証一部 3730)

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、社長：辻本秀幸）は、1都3県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）20～59歳の主婦を対象に、「消費と値上げに関する意識調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2008年3月12日（水）～3月13日（木）。有効回答数は516名から得られました。

【調査結果概要】

【1】 最近の物価の上昇、95%が「生活に影響がある」

20～50代の主婦に、最近の物価上昇が生活に与える影響について尋ねたところ、「影響がある」と回答した人は55%、「やや影響がある」と回答した人は39%で、合計95%が生活に「影響がある」と回答しました。

【2】 電気・ガス料金の継続値上げは、6割超が認知

昨年10月から続いている、電気料金・ガス料金の値上げについて尋ねたところ、「値上げの料金まで知っている」と回答した人は6%、「料金までは知らないが、値上げが続いていることは知っている」と回答した人が59%となっており、値上げの継続を認知している人は合計で65%でした。

また、今年4月に予定されている電気・ガス料金の更なる値上げについては「値上げの料金まで知っている」と回答した人が3%、「料金までは知らないが、値上げがあることは知っている」と回答した人が60%となり、合計で62%が認知している結果となりました。

【3】 電気で81%、ガスで64%が省エネ対策を「行っている」 具体的な対策は「使わない部屋の電気を消す」が98%で最多

日頃、家庭で電気・ガスの省エネ対策を行っているか尋ねたところ、電気に関しては81%、ガスに関しては64%の人が「(省エネ対策を)行っている」と回答しました。

また、省エネ対策を行っている人に、具体的な対策を尋ねたところ、「使わない部屋の電気を消す」が98%で最も多く、次いで「テレビを見ないときは消す」が75%、「冷暖房の設定温度を控え目にする」が74%となりました。

省エネ対策を「行っている」理由は、「光熱費の節約」が93%で最も多く、次いで「地球温暖化防止のため」が60%、「エネルギー資源を大切にするため」が51%でした。

【4】 相次ぐ値上げが消費に及ぼす影響は「電気・ガスの使用を控える(68%)」 「外食を節約する(57%)」、「家での食費を節約する(48%)」

食品やガソリン、電気・ガス料金などの相次ぐ値上げによる消費影響を尋ねたところ、「電気・ガスの使用を控える」が68%で最も多く、次いで「外食を節約する」が57%、「家での食費を節約する」が48%となりました。

「消費と値上げに関する意識調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	1都3県(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)
調査対象:	20歳以上59歳以下の主婦(マクロミルモニタ会員)
有効回答数:	516人
調査日時:	2008年3月12日(水)～3月13日(木)
調査機関:	株式会社マクロミル

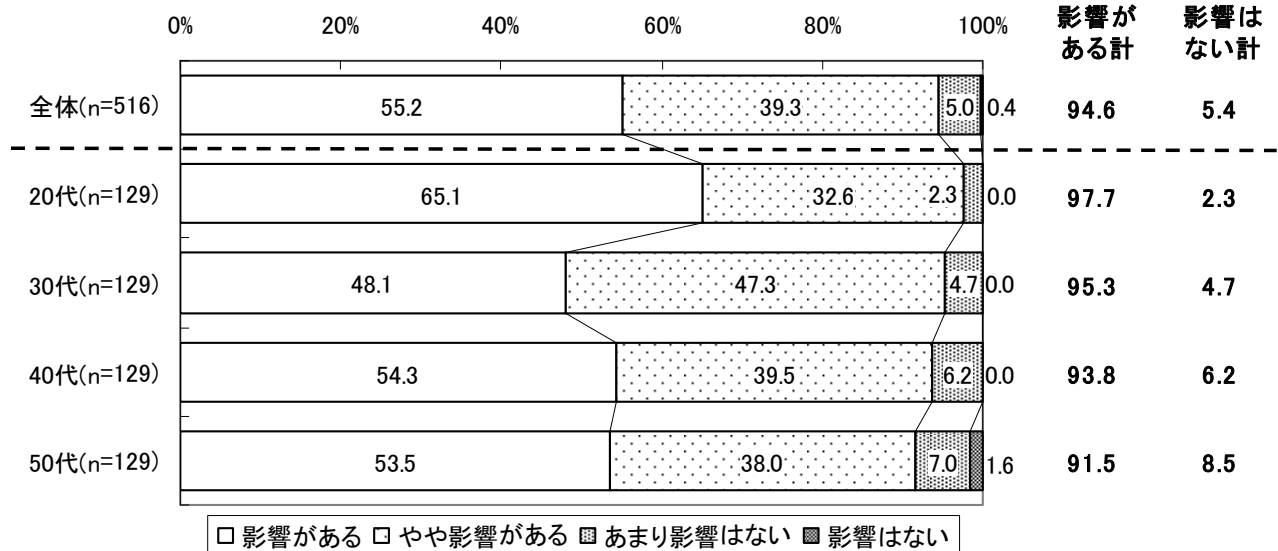
I. 最近の値上げについて

■ 最近の物価の上昇、95%が「生活に影響がある」

20～50代の主婦に、最近の物価上昇が生活に与える影響について尋ねたところ、「影響がある」と回答した人は55%、「やや影響がある」と回答した人は39%で、合計95%が生活に「影響がある」と回答しました。(図1)

【図1】最近の物価の上昇が生活へ及ぼす影響

Q.あなたにとって最近の物価の上昇は、生活にどのくらいの影響がありますか。



■ 値上げを実感している商品・サービス 1位「ガソリン(75%)」 2位「パン(55%)」、3位「ティッシュ・トイレットペーパー(52%)」

最近、値上げを実感している商品・サービス（28品目）について尋ねたところ、1位が「ガソリン」で75%、2位が「パン」で55%、3位が「ティッシュ・トイレットペーパー」で52%となりました。

年代別にみると「ガソリン」は、いずれの年代においても1位となっています。（図2）

【図2】最近値上げを実感している商品・サービスく上位10

Q.下記の商品・サービスの中で、あなたが最近値上げを実感しているものはありますか。あてはまるものをお知らせください。（複数回答）

Q.下記の商品・サービスの中で、あなたが最近、最も値上げを実感しているものをお知らせください。（単一回答）

順位	全体(n=516)	(%)	
1	ガソリン	75.0	35.1
2	パン	54.8	9.7
3	ティッシュ・トイレットペーパー	51.9	6.4
4	野菜	49.0	9.1
5	灯油	46.7	8.5
6	即席めん	46.5	9.1
7	パスタ	41.9	3.5
8	小麦粉	34.1	1.7
9	タクシー料金	31.4	3.3
10	調味料	30.2	0.8
-	特になし	1.6	-

順位	20代(n=129)	(%)	
1	ガソリン	82.2	37.2
2	野菜	58.9	11.6
3	ティッシュ・トイレットペーパー	55.0	7.0
4	パン	48.8	8.5
4	灯油	48.8	4.7
6	即席めん	45.7	8.5
6	パスタ	45.7	2.3
8	小麦粉	36.4	2.3
9	タクシー料金	31.0	3.9
10	調味料	26.4	0.8
-	特になし	1.6	-

順位	30代(n=129)	(%)	
1	ガソリン	74.4	37.2
2	パン	61.2	10.1
3	ティッシュ・トイレットペーパー	59.7	7.8
4	野菜	48.1	10.1
5	即席めん	43.4	6.2
5	パスタ	43.4	5.4
7	灯油	38.8	4.7
8	調味料	32.6	0.8
8	タクシー料金	32.6	2.3
10	バター・マーガリン	31.0	3.9
-	特になし	0.8	-

順位	40代(n=129)	(%)	
1	ガソリン	68.2	33.3
2	パン	50.4	12.4
3	即席めん	49.6	13.2
4	パスタ	44.2	3.1
5	ティッシュ・トイレットペーパー	43.4	4.7
6	灯油	42.6	7.0
7	野菜	41.9	8.5
8	タクシー料金	31.8	2.3
9	小麦粉	31.0	0.8
10	バター・マーガリン	28.7	2.3
-	特になし	2.3	-

順位	50代(n=129)	(%)	
1	ガソリン	75.2	32.6
2	パン	58.9	7.8
3	灯油	56.6	17.8
4	ティッシュ・トイレットペーパー	49.6	6.2
5	野菜	47.3	6.2
5	即席めん	47.3	8.5
7	小麦粉	38.8	0.8
8	食用油	36.4	0.0
9	調味料	34.9	1.6
10	パスタ	34.1	3.1
-	特になし	1.6	-

※右：値上げを実感しているもの（複数回答）

※左：最も値上げを実感しているもの（単数回答）

◆調査を行った品目(全28品目)

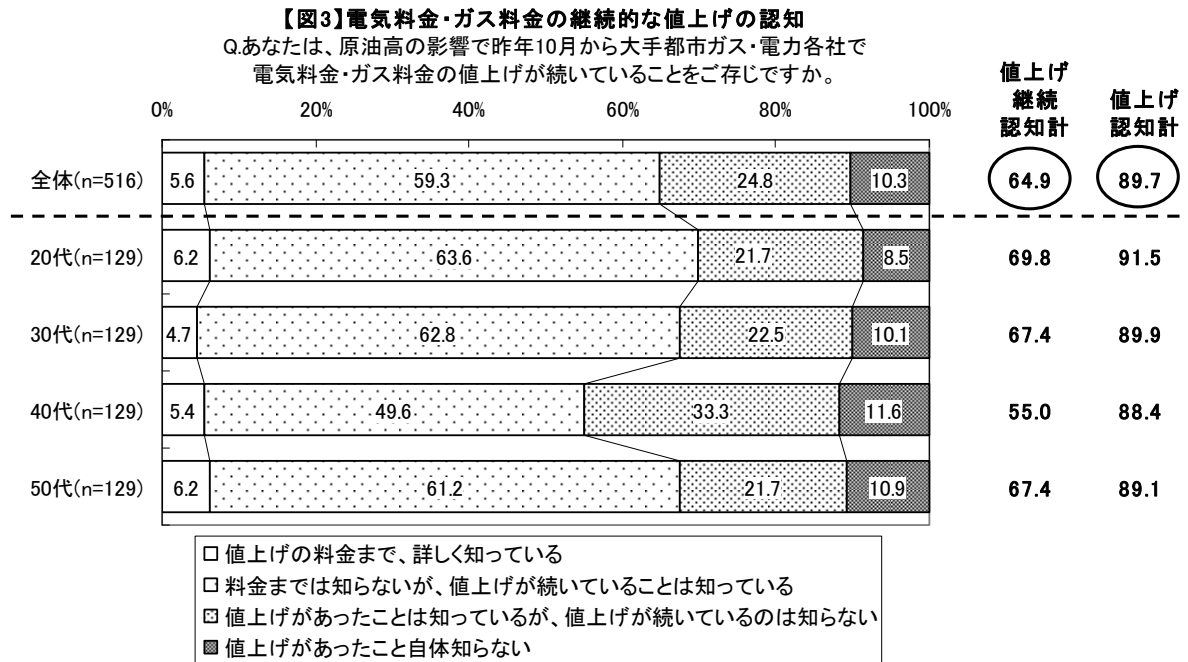
野菜、果物、パン、即席めん(カップめん)、パスタ、缶詰類、冷凍食品、水産練り製品(ちくわ、かまぼこなど)、調味料(みそ、しょうゆ、マヨネーズなど)、香辛料(こしょう、わさびなど)、バター・マーガリン、カレールー、食用油、小麦粉、牛乳、乳製品(チーズ、ヨーグルトなど)、チョコレート、スナック菓子、ビール、発泡酒、焼酎、その他飲料(清涼飲料や果汁飲料など)、ティッシュ・トイレットペーパー、クリーニング料金、ガソリン、灯油、航空運賃、タクシー料金

II. 電気料金・ガス料金の値上げについて

■ 電気・ガス料金の継続値上げは、6割超が認知

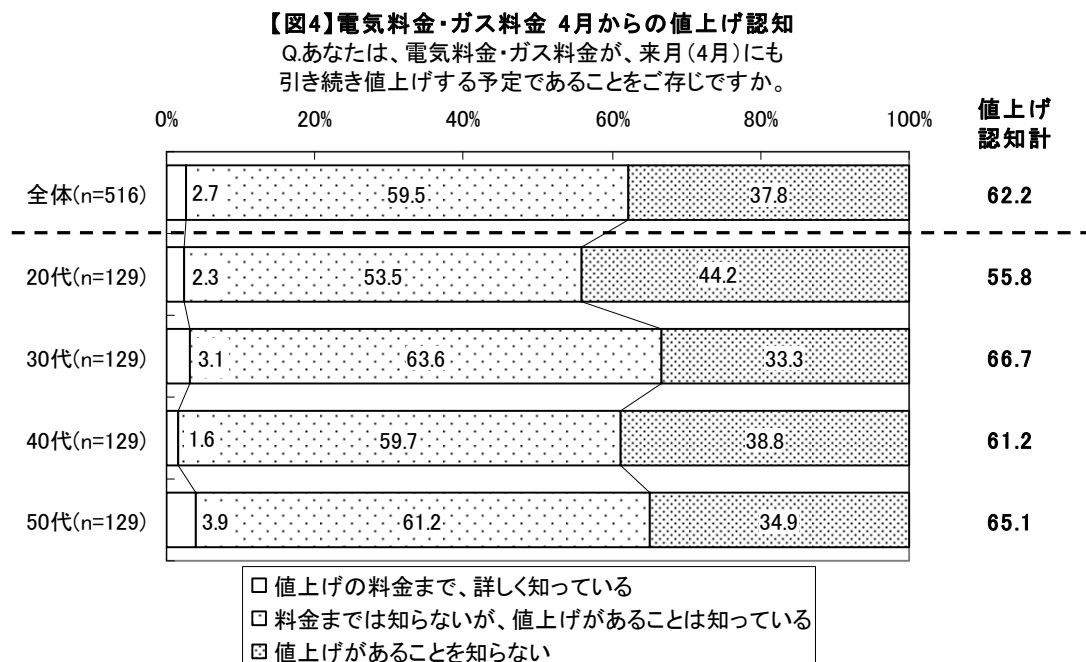
昨年10月から続いている、電気料金・ガス料金の値上げについて尋ねたところ、「値上げの料金まで知っている」と回答した人は6%、「料金までは知らないが、値上げが続いていることは知っている」と回答した人が59%となっており、値上げの継続を認知している人は合計で65%でした。

また、「値上げがあったことは知っているが、値上げが続いているのは知らない」という回答は25%で、値上げのみを認知している人は90%でした。(図3)



■ 4月からの電気・ガス料金の更なる値上げ、約6割が認知

2008年4月から予定されている電気・ガス料金の値上げに関して尋ねたところ、「値上げの料金まで知っている」と回答した人は3%、「料金までは知らないが、値上げがあることは知っている」と回答した人が60%となっており、4月からの値上げ予定を認知している人は合計で62%となりました。(図4)



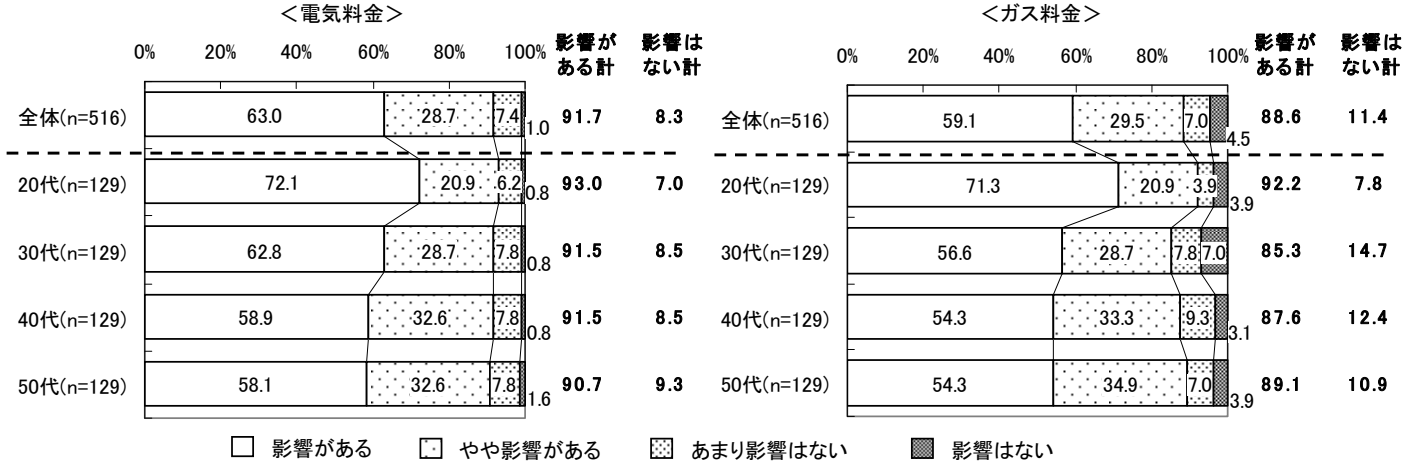
■ 電気・ガス料金の値上げ、いずれも約9割が「生活に影響がある」と回答

電気・ガス料金の値上げが生活に及ぼす影響について尋ねたところ、電気料金に関しては92%（「影響がある(63%)」+「やや影響がある(29%)」）、ガス料金に関しても89%（「影響がある(59%)」+「やや影響がある(30%)」）の人が「影響がある」と回答しています。

年代別にみると、電気・ガス料金ともに「影響がある」と回答した人は20代で70%強と、他年代に比べ高い割合になっています。（図5）

【図5】電気料金・ガス料金の値上げの生活に対する影響

Q.あなたにとって、電気料金・ガス料金の値上げは、それぞれ生活にどのくらいの影響がありますか。



III. 省エネ対策の実施について

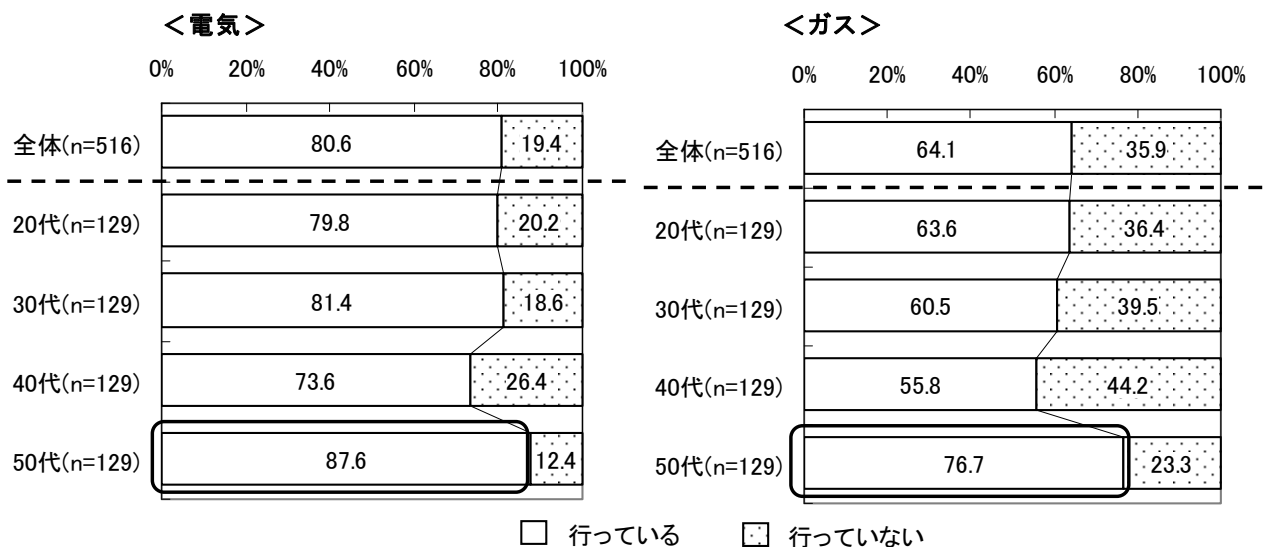
■ 電気で81%、ガスで64%が省エネ対策を「行っている」

日頃、家庭で電気・ガスの省エネ対策を行っているか尋ねたところ、電気に関しては81%、ガスに関しては64%の人が「(省エネ対策を)行っている」と回答しました。

年代別にみると、電気・ガスともに省エネ対策を「行っている」と回答した人は50代で最も多くなりました。（図6）

【図6】家庭で電気・ガスの省エネ対策を行っているか

Q.あなたは、日頃ご家庭で、電気・ガスに関して省エネ対策を行っていますか。



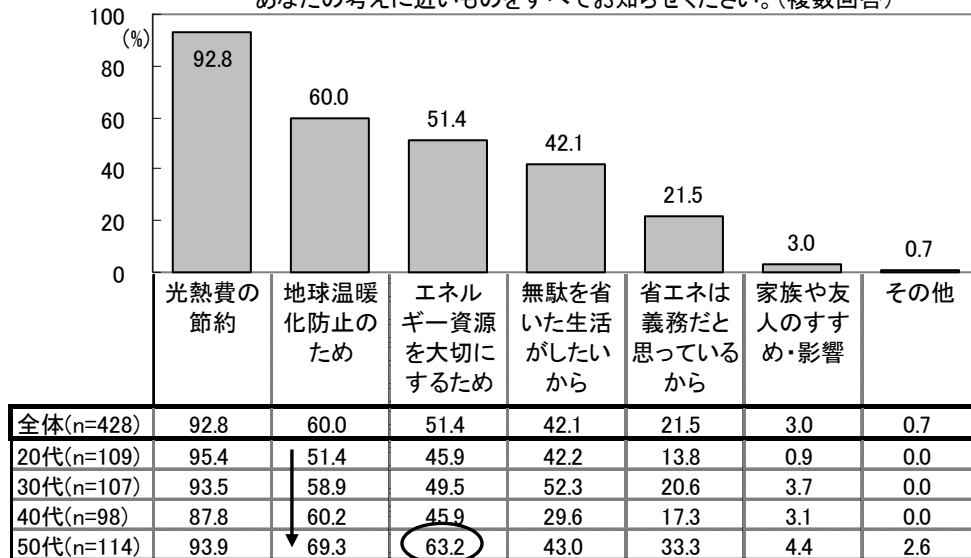
■ 省エネ対策を行っている理由は、「光熱費の節約」が93%で最多。

次いで「地球温暖化防止のため」が60%、「エネルギー資源を大切にするため」が51%

電気、ガスのいずれかで省エネ対策を「行っている」人に、その理由を尋ねたところ、「光熱費の節約」が93%で最も多く、次いで「地球温暖化防止のため」が60%、「エネルギー資源を大切にするため」が51%となりました。

年代別にみると、高齢層ほど「地球温暖化防止のため」という回答が多くなっています。また50代では「エネルギー資源を大切にするため」が63%と、40代以下に比べ多くなっています。(図7)

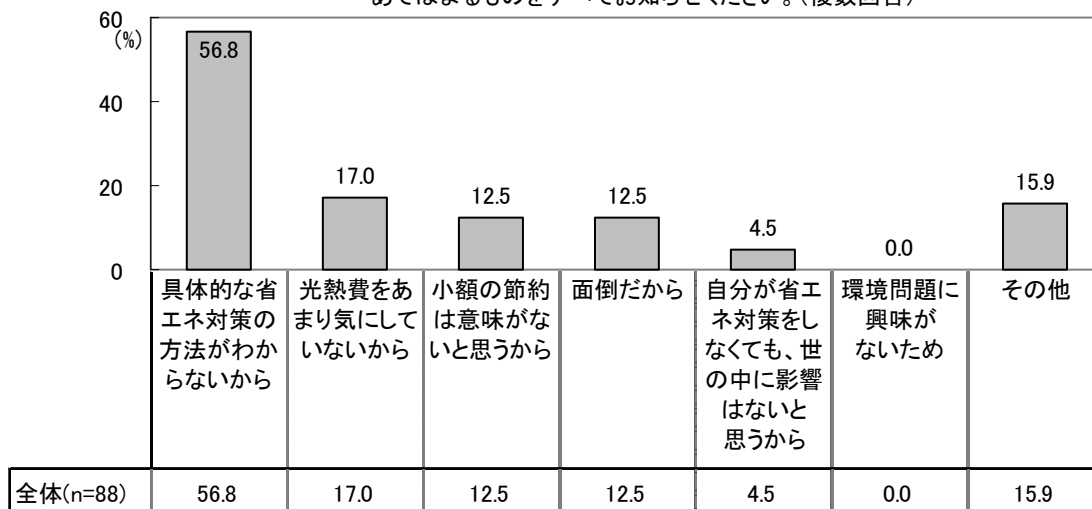
【図7】省エネ対策を行う理由
(ベース:電気もしくはガスの省エネ対策を行っている人)
Q.あなたが省エネ対策を行っている理由として、あなたの考えに近いものをすべてお知らせください。(複数回答)



■ 省エネ対策を行わない理由は、「具体的な省エネ対策の方法がわからないから(57%)」

電気、ガスのいずれでも省エネ対策を「行っていない」人に、その理由を尋ねたところ、「具体的な省エネ対策の方法がわからないから」という回答が57%で圧倒的に多くなりました。(図8)

【図8】省エネ対策を行わない理由
(ベース:電気・ガスとも省エネ対策を行っていない人)
Q.あなたが省エネ対策を行っていない理由として、あてはまるものをすべてお知らせください。(複数回答)



- 具体的な省エネ対策は「使わない部屋の電気を消す」が98%で最多。
 次いで「テレビを見ないときは消す」が75%、「冷暖房の設定温度を控え目にする」が74%

家庭で行っている電気・ガスの省エネ対策について尋ねたところ、「使わない部屋の電気を消す」が98%で最も多く、次いで「テレビを見ないときは消す」が75%、「冷暖房の設定温度を控え目にする」が74%となりました。(図9)

**【図9】家庭で行っている電気・ガスの省エネ対策
 (ベース: 電気もしくはガスの省エネ対策を行っている人)**

Qあなたは、ご家庭での電気・ガスの省エネ対策に関して、
 どのようなことを行っていますか。(複数回答)

※省エネ家電の使用以外で、具体的な行動をお知らせください。

順位	全体(n=428)	(%)
1	使わない部屋の電気を消す	98.1
2	テレビを見ないときはこまめに消す	74.5
3	冷暖房の設定温度を控え目にする	73.8
4	お風呂のシャワーを出しっ放しにしない	66.6
5	洗濯物はある程度ためてから、まとめて洗う	58.6
6	冷蔵庫の無駄な開閉はしない	51.9
7	風呂がわいたら、間隔をあげずすぐ入浴する	50.7
8	冷蔵庫の設定温度を適切にする	43.0
9	スイッチ付きの電源タップを使用する	42.8
10	温水洗浄便座は、使わないときフタを閉める	37.4
11	便座暖房の温度は低めにする	36.2
12	家電製品は電源を切る際プラグを抜き待機時消費電力をカットする	35.5
13	省エネタイプの蛍光灯やLEDを使用する	34.3
14	冷凍した食品はなるべく自然解凍する	33.6
15	エアコンのフィルターを月に1、2回は掃除する	25.2
16	シャワートイレの洗浄水は、温度を低めにする	24.5
17	野菜の下ごしらえには、電子レンジを使用する	24.3
18	冬場は部屋の保温効果を高めるため厚手のカーテンにする	18.2
19	充電式電池を使用する	16.6
20	カーペットの下にアルミ素材のシートを敷き保温効果を高める	14.7
21	冷蔵庫は冷気の吹き出し口をふさがないようにする	13.8
22	部屋の窓に断熱シートを貼り保温効果を高める	8.2
23	自家発電(太陽光)を使用する	0.9
24	ソーラー式充電器を使用する	0.2
-	その他	4.2

■ 省エネ対策のため買い換えた製品、1位は「エアコン(11%)」
省エネ対策のため今後買い換えを検討したい製品、1位は「冷蔵庫(18%)」

省エネ対策のためこれまでに買い換えをした製品について尋ねたところ、1位が「エアコン」で11%、2位が「蛍光灯器具」で9%、となっています。(図10)

また、省エネ対策のため今後買い換えを検討したい製品について尋ねたところ、1位が「冷蔵庫」で18%、2位は「エアコン」「洗濯機」でそれぞれ16%となりました。(図11)

【図10】省エネ対策のために
買い換えた製品<上位10>

Q.あなたは、省エネ対策のために身の回りのものでこれまで買い換えをした製品はありますか。あてはまるものすべてをお知らせください。(複数回答)

順位	全体(n=516)	(%)
1	エアコン	10.5
2	蛍光灯器具	8.7
3	冷蔵庫	6.4
4	テレビ	6.0
5	洗濯機	4.7
6	自動車	4.3
6	シャワーヘッド	4.3
8	電気ポット	3.7
9	炊飯ジャー	2.7
10	パソコン	2.5
-	買い換えをしたものはない	64.9

【図11】省エネ対策のために、
今後買い換えたい製品<上位10>

Q.あなたは、省エネ対策のために身の回りのもので今後買い換えを検討したい製品はありますか。あてはまるものすべてをお知らせください。(複数回答)

順位	全体(n=516)	(%)
1	冷蔵庫	18.4
2	エアコン	15.9
2	洗濯機	15.9
4	テレビ	13.2
5	電子レンジ	8.9
5	蛍光灯器具(照明器具)	8.9
7	炊飯ジャー	6.8
8	自動車	6.6
9	シャワーヘッド	5.4
10	食器洗淨器	4.7
-	買い換えをしたいものはない	41.7

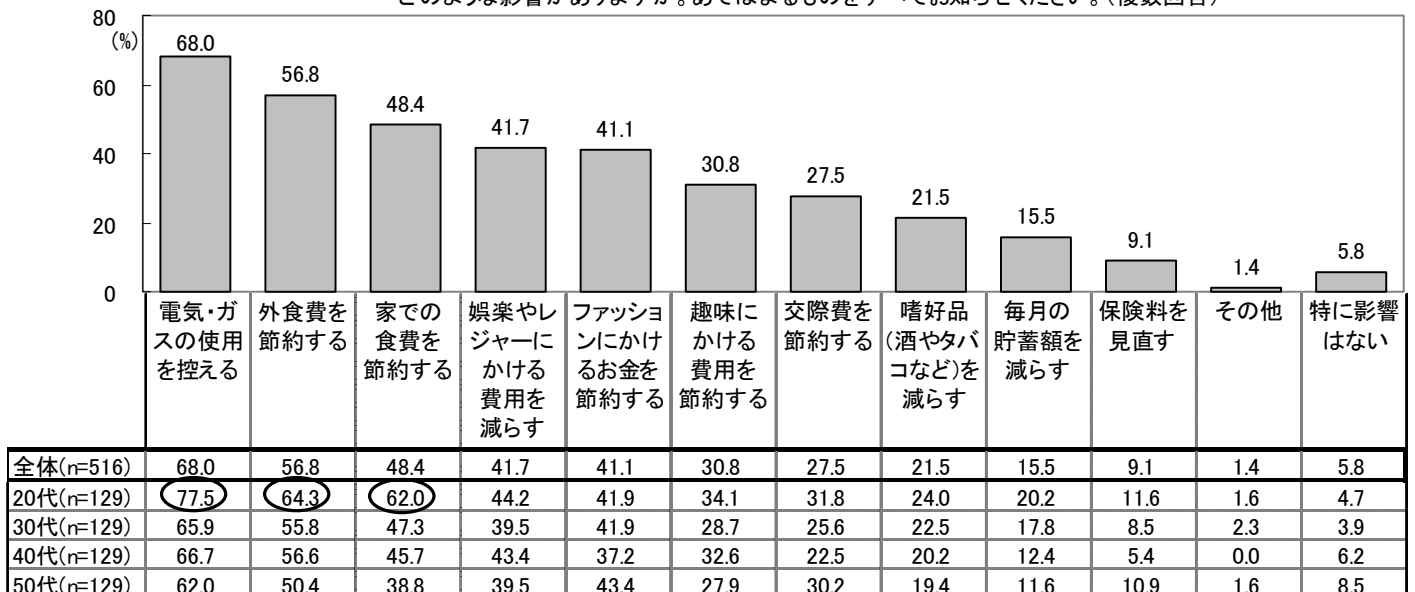
■ 相次ぐ値上げが消費に及ぼす影響は「電気・ガスの使用を抑える(68%)」
「外食を節約する(57%)」、「家での食費を節約する(48%)」

食品やガソリン、電気・ガス料金などの相次ぐ値上げによる消費影響を尋ねたところ、「電気・ガスの使用を抑える」が68%で最も多く、次いで「外食を節約する」が57%、「家での食費を節約する」が48%となりました。

年代別にみると、20代では上位3項目(「電気・ガスの使用を抑える」「外食を節約する」「家での食費を節約する」)が30代以上に比べ高い割合になっています。(図12)

【図12】物価の上昇が及ぼす消費影響

Q.食品やガソリン、電気・ガス料金などの相次ぐ値上げは、あなたにとってどのような影響がありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。(複数回答)



■ 物価上昇によって、給与や税金に対する意見が多出。

一方では「これを機会に省エネを考え直したい」といった考えも

食品、ガソリン、電気・ガス料金などの相次ぐ値上げに関しての考えを、自由回答形式で具体的に記入してもらいました。その結果「物価が上がっても給料が上がらない」「値上げをするなら税金を下げしてほしい」といった、給与や税金に対する意見が多く見られました。

一方で、「これを機会に省エネを考え直したい」といった前向きな意見や「仕方がない」といった諦めムードの意見もありました。(図13)

【図13】最近の値上げに対する考え方(抜粋)

あなたは、最近の食品、ガソリン、電気・ガス料金などの値上げをどのように思いますか。値上げに対するあなたの考えをご自由にお知らせください。	年齢	性別	未婚	職業
詳しくは知らないが、ひとりひとりが節約を考える転機だと思う。	22	女性	既婚	パート・アルバイト
仕方がないことだとあきらめている。	25	女性	既婚	会社員(技術系)
以前から節約をして生活してきたので、正直今回の値上げは家計を圧迫している。これ以上切り詰める場がないので困っている。なんとか打開策を練って、よりよい生活を送りたい。	26	女性	既婚	専業主婦
家計に大きな影響がある。税金をもっと有効に使って欲しい。	27	女性	既婚	専業主婦
物価があがるのと平行して給料が上がらないととても生活出来ないと思います。それだけ、値上げをするのなら税金を下げてください。	27	女性	既婚	パート・アルバイト
早く値が下がるに越したことはないが、ガソリンなどは限りある資源なので、ソーラーシステムなどの開発をもっと実用化できるようにしてほしい。	28	女性	既婚	専業主婦
値上げに対して収入は増えるどころか、減るばかりなので、とても生活に影響があります。また、何をしてもお金がかかるので、何をどのように節約していくか日々考えています。	29	女性	既婚	専業主婦
腹立たしい。消費者のことを考えているのか不透明な法案や、国会での議論には憤慨する。ガソリン税などについて一面だけを取り上げ、海外と比較することはナンセンスだと思う。今でさえ、生活に影響が出ているのに、これ以上の値上げは勘弁してほしい。	29	女性	既婚	専業主婦
とても厳しい現実。どうしても生活に必要な、料金が上がるのは大変。子供がいると特に。	32	女性	既婚	パート・アルバイト
払う税金も増え、生活に必要な物も値上がり、それでも給料など入ってくるお金も変わらず。税金の無駄使いをやめて還元してほしい。	33	女性	既婚	専業主婦
値上げはしょうがない事だとしても この先不足になるようなことがないといいと思う。	35	女性	既婚	パート・アルバイト
環境問題を考えると、値上げされたほうが、皆が使用量を減らそうとするし、企業もより電気消費量の少ない家電を作ろうとするだろうし、物を大切にすることも生まれると思うので、必ずしも悪いことばかりだとは思わない。	37	女性	既婚	自由業
理由がある値上げは仕方がないが便乗値上げは困る。生活に直結するものばかりの値上げなのに、税金も高くなるばかりで、生活が苦しくなる。	39	女性	既婚	自由業
主人のお給料は上がらないので、生活が苦しくなるばかりです。オール電化や太陽光発電に興味があっても、お金がないので変えることも出来ないし・・・結局は食費を節約するしかないのが現実です。	40	女性	既婚	専業主婦
値上げはある程度は仕方ないと思うが便乗値上げはしないでほしい	43	女性	既婚	会社員(事務系)
日本のエネルギー事情は危うい。値上げで済んでいるならまだましかもしれない。国力に大幅な影響を与えるような世界状況や、場合によっては日本国そのものが立ち行かなくなる危機的状況すら想定できる。	44	女性	既婚	専業主婦
やむを得ないと思う。	44	女性	既婚	自営業
同時期の一斉値上げはかなり生活を圧迫するけど、環境を見直すには絶好の機会かもしれない。これを機に、地球環境をもっと考えたい。	47	女性	既婚	自由業
ある程度は事情があるので仕方ないが便乗値上げは厳しく取り締まって欲しい。	54	女性	既婚	パート・アルバイト
外国の投機活動で原油価格が高騰するのは許せない。国際管理にして安定供給を計るべき。	55	女性	既婚	専業主婦
適正な値上げであればある程度受け入れる	56	女性	既婚	専業主婦

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 63 万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000年1月31日
資本金 ■9億3,035万円 ※2007年12月末現在
上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
代表者 ■代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数 ■206名 ※2008年2月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：関・西沢
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
〈例〉「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」